

平成 26 年 10 月 1 日

福島漢字探検隊 2014 福島大学・立命館大学「漢字で元気に」プロジェクト第4弾！

概要

震災後の 2011 年秋より、福島大学と、福島県と連携協力協定を締結している立命館大学とで「漢字で元気に」プロジェクトを始動中。

その第 4 弾として、福島県民対象の体験型漢字講座「福島漢字探検隊—漢字あそび大会 2014」を「こむこむ館」と郡山市安積国造神社にて 3 日間開催。

福島大学は、立命館大学、白川静記念東洋文字文化研究所に協力し、震災の年 2011 年より大学生とともに「漢字で元気に」プロジェクトを福島で始動しています。今年は継続的活動の第 4 回目となります。

立命館大学は、東日本大震災直後の 2011 年 4 月にいち早く「災害復校支援室」を設立し、教職員や学生の支援活動を広汎にサポートしてきています。さらに、2013 年 12 月には福島県と「連携協力協定」を結んでいます。

※別紙資料「学校法人立命館・災害復校支援の取り組み」参照

「漢字で元気に」プロジェクトは、年齢・性別に関わらず共通の話題にできる漢字・日本語を、家族をはじめとするコミュニティーの交流ツールとなるように、そしてそこから生まれてくる絆の力を震災復興に向けられるように、さまざまな話題や知識を、大学生ボランティアとともに主に小中学生を対象に提供する活動を行うものです。

福島大学・人間発達文化学類教授で漢字・漢文学の講座を担当する澁澤 尚が、世界的な文字学者である故・白川 静博士（文化勲章受章者）に師事していたことが縁で福島県開催が実現しました。

その第 4 弾として、漢字をテーマにしたイベント「福島漢字探検隊—漢字あそび大会 2014」を 10 月 11 日～13 日の 3 日間、初日は郡山市安積国造神社で「漢字探検隊—神さまと漢字」を、2 日目・3 日目は福島駅東口「こむこむ館」1F 入口にぎわい広場で「漢字あそび大会」を開催し、小中学生を中心に市民・

県民を無料招待いたします。

2日目・3日目の「こむこむ」開催には福島大学生も多数参加し、福島の子どもたちと交流します。 ※詳細は、別紙チラシ参照

開催要項

漢字あそび大会

- 日 時 10月12日(日) 12:00~17:00
- 10月13日(月・祝) 10:00~16:00
- 会 場 福島市「こむこむ館」1階 にぎわい広場 【入退場自由・無料】
- 内 容
漢字あそびコーナー（漢字カルタ・トランプ・古代文字すごろく等）
古代文字で名前を書こう ※澁澤が古代文字でお子さんの名前を書きます
漢字クイズ大会・画数ビンゴ大会・白川静展示コーナー

漢字探検隊「神さまと漢字」

- 日 時 10月11日(土) 10:00~16:00
- 会 場 郡山市安積国造神社 【事前申込・無料】
- 内 容 神社や安積良斎記念館を見学しながら漢字の成り立ちを学ぶ

-
- 対 象 小中学生、親子、年配者までどなたでもご参加いただけます
 - 参加料 無料 漢字あそび大会は事前申込不要、漢字探検隊は事前申込

- 主 催 学校法人立命館大学 白川静記念東洋文字文化研究所 (株)Z会
- 協 力 国立大学法人福島大学、福島市こむこむ館、安積国造神社
- 後 援 福島市教育委員会、郡山市教育委員会
福島民報新聞社、福島民友新聞社
- 協 賛 (株)平凡社
- 問い合わせ先

福島大学 人間発達文化学類 澁澤尚（しぶさわ ひさし）研究室
Tel:024-548-8131 / e-mail: shibusawa@educ.fukushima-u.ac.jp
学校法人 立命館 社会連携課 久保
Tel:075-813-8110 / e-mail: toyomoji@st.ritsumeii.ac.jp

※白川静博士について

白川静博士（しらかわ しずか 1910-2006）は、世界的な東洋学者で、漢字研究の第一人者。古代人の生活や信仰にまで踏み込んで文字を分析。漢字の成り立ちについて、最古の字書『説文解字』以来の二千年にわたる解釈を覆す理論を打ち立てました。



白川博士は、最古の文字資料である殷・周の甲骨文や金文に対して体系的な研究を行い、古代文化について独創的な研究を築き上げました。その学説は世に「白川文字学」と称され、内外の学界から高い評価を得ています。NHKで特集番組が組まれたり、また俳優・武田鉄矢がその字説をテレビ番組で紹介するなどして、一般にも広く知られるようになりました。

その独自の学説は、60余年におよぶ漢字研究の成果として辞書3部作（『字統』『字訓』『字通』）に結実し、漢字文化の豊かな世界を広く世人に理解せしめ、今後の文字表現のありべき道を示唆、朝日賞、毎日出版文化賞、菊池寛賞、井上靖賞など多数受賞しました。

漢字文化圏全体に亘る壮大な研究により1998年、文化功労者として顕彰され、2004年、文化勲章が授与されました。

昨年の福島開催の様子



学校法人立命館 災害復興支援の取り組み

災害復興支援室の設置

- 学校法人立命館では、東日本大震災における体外的な支援要請の窓口や、学生・教職員の支援活動をサポートすることを目的に、2011年4月21日に「災害復興支援室」を設置しました。

活動内容

◎ 学内外の情報のとりまとめ

- (1) 立命館としての災害発生時の支援の方針づくり
- (2) 立命館の教育・研究の到達点を踏まえた支援のための学内資源の把握
- (3) 学生・生徒・児童、教職員からの災害支援に向けた提言のとりまとめ
- (4) 関連機関・自治体、他大学の取り組み状況や本学への支援要請の把握

◎ 対外的支援要請の窓口、学生・教職員の支援活動のサポート

- (1) 他大学など外部からの支援要請への対応
- (2) 学生・教職員による「東日本大震災」復興支援活動のサポート
 - ・ Web上における学内外への情報提供や交流サイトの構築
 - ・ 現地状況を共有する学習会・意見交換会の開催
- (3) 支援活動につながる研究活動に対する支援
- (4) 立命館としての復興・支援活動の検討とその支援



復興+R基金の設置

- 震災により影響を受けた本学在学生在が、引き続き学ぶことができるよう経済的な支援を行うとともに、災害に強い社会の構築への寄与を目的に立命館災害復興支援基金（復興+R基金）を設立しました。基金財源は学園内の教職員、校友、父母などの関係者のほか、立命館教職員組合連合、立命館生活協同組合からも寄付・協力を得ています。

被災学生支援金

被災した学生の経済援助

復興活動支援金

学生ボランティア等の活動支援

復興+R基金の構成

■ 立命館の学費減免・奨学金の展開

立命館大学では復興+R基金による「被災学生支援金」の他多彩な奨学金・災害見舞金による支援を展開しています。

- 非常災害による修学困難者に対する立命館大学学費減免
- 立命館大学父母教育後援会修学援助奨学金*
- 立命館大学父母教育後援会家計急変奨学金（災害対応枠）*
- 立命館父母教育後援会災害見舞金* (*) 学部生を対象とする

連携・支援拠点の設置

- 岩手県内をはじめ、東北3件の拠点において、復興支援につながる教育研究による取り組みを展開しています。

気仙沼市

○ 「気仙沼のほほ日」および東北ツーリーハウス観光協会が取り組む復興応援のプロジェクトとの連携

宮古市

○ 教育研究と連動した支援プロジェクトの展開
○ 学生ボランティア派遣

大船渡市

○ 復興の支援と人材育成に関する協定の締結
○ 教育研究を通じた支援・交流の実施
○ スポーツ健康科学部による運動プログラム開発・提供

2013年12月 福島県との連携をスタート

2013年12月、福島県と学校法人立命館との間で連携協力協定を締結し、震災後の社会において「新たな流れを創っていきたい」という福島県による「ふくしまからはじめよう。」のスローガンに、東日本大震災の発災当初から東北地域との連携を図って支援活動に取り組んできた学校法人立命館として、教育・研究や情報発信の連携により応えていきます。



教育・研究を通じた取り組みの展開

東日本大震災に関する研究推進プログラム 2011/2012年度

- 被災地の復興支援や災害被害軽減に寄与するプロジェクト研究
被災した大学・研究機関との共同プロジェクト研究をサポート

2011年度：30件採択 採択金額50,000,000円
2012年度：52件採択 採択金額50,000,000円



教職員を中心とした活動の支援

- 教職員が主体となって取り組む集団的な支援の取り組みへの支援

2011年度 東日本大震災復興のための「私たちの提案」30件
2012年度 教職員を主体とした災害復興支援活動サポート
大学枠における採択 13件
附属校より 3件採択
203年度 附属校より 3件採択



学生による 取り組みの支援

- 被災地復興支援に関する学生ボランティアの継続

学生部によるボランティアバス 計13便 運行継続中
災害復興支援室主催・運行「後方支援スタッフ派遣」計24便実施
学生の被災地派遣人数：合計約880名（2014年6月時点）



震災以外の災害での活動連携へ

2013年9月、関西地方における台風・豪雨被害の発生を受け、東日本大震災への支援で連携のあった東北学院大学よりメンバーが関西に訪訪。滋賀県高島市にて立命館大学生と合同でボランティア活動を行ないました。



取り組みの発展 継続に向けて

被災地域で活動を行なう学生へ 旅費を支援

2014年度、被災地域における大学生ボランティアへの期待の継続を受け、ひきつづき立命館大学から支援に参加する学生の支援と活動促進を目的に、夏期休暇中に東北エリアでの支援活動に参加する学生の旅費支援を行います。

- 支援の対象：

立命館大学生・院生が、これまで立命館が支援・連携を行ってきた組織・プロジェクトに参加する場合

- 支援額：

交通費...15,000円～22,000円
目的地ごとに上限を設定
宿泊費...1泊3,000円/2泊以上6泊まで

- 支援人数（予定）：

約100名の大学生・院生を想定

学内および社会に向けた 情報発信の継続

- 災害復興支援室「瓦版」の発行



- Facebookでの活動レポートの発信



東日本大震災関連 学校法人立命館による福島県に関する取り組み

時期	内容	実施者	主な実施地域
■2011年度			
4月	避難生活支援キットの防災缶「i BOUSAI」3,000個発送。福島県内避難所に1,600個、福島大学避難所に200個、岩手県・宮城県内避難所に1,200個送付。	歴史都市防災センター	福島県、福島大学、岩手県、宮城県内避難所
6月	国際平和ミュージアム特別講演「福島原発から何を学ぶか？―二度の現地調査をふまえて―」開催	国際平和ミュージアム	京都市（衣笠）
7月	校友・父母課が宮城県・福島県校友会訪問	校友・父母課	宮城県／福島県
8月	立命館大学教員による東日本大震災被災地視察、福島大学教員の懇談を実施。	災害復興支援室	福島県福島市
	福島県校友の家族3名がエボック立命21に一時避難、福島県校友会より立命館大学宿泊施設開放のお知らせを公開。	校友会	滋賀県草津市（BKC）
9月	「福島漢字探検隊―漢字遊び大会」を福島大学と立命館大学・白川静記念東洋文字文化研究所との共催、福島市教委の後援、平凡社の協賛により開催。	白川静記念東洋文字文化研究所	福島県福島市
11月	応用人間科学研究科「東日本・家族応援プロジェクトin福島2011」の開催	応用人間科学研究科	福島県福島市
12月	プロ野球選手会「ベースボールクリスマスinいわき」へボランティア学生・職員派遣	立命館 広報課	福島県いわき市
	シンポジウム「放射能と希望」農業・酪農の再生に携わる農業者、NGO、遠隔地避難の当事者を招き、復興や生活支援のあり方について意見交換を実施。	政策科学部科学研究科	京都市（衣笠）
	立命館未来プロジェクト第6回フォーラム『東日本大震災を受けて、環境・食料を考える』福島大学杉森大助准教授 実施。	災害復興支援室	滋賀県草津市（BKC）
2012年1月	応用人間科学研究科「東日本・家族応援プロジェクトin二本松2012」の開催	応用人間科学研究科	福島県二本松市
2月	「立学治復興支援プロジェクト2012」高校2年生が農地復元のための瓦礫撤去、福島の高校生との交流を実施。	立命館宇治中学・高等学校	福島県南相馬市
3月	人間科学研究所・生存学研究センター主催による原子力と生存学研究会・特別企画「震災・大学・放射能～福島大学教員をお招きして」ワークショップの開催。	人間科学研究所 生存学研究センター	京都市（衣笠）
■2012年度			
6月	福島風評被害対策会議に職員1名が参加。	災害復興支援室	福島県福島市
	東日本大震災 連続フォーラム第3回「震災から何を学ぶか -3.11から見えた日本社会- 災害に負けない「社会」をつくる」福島県飯館村菅野村長を招聘し基調講演。	産業社会学会	京都市（衣笠）
7月	「地域活性化ボランティア減災×学びプロジェクト」の受講学生有志と教員が、郡山市に避難している富岡町の方々と交流企画に参加。	共通教育推進機構 山口洋典准教授	福島県天栄村
10月	「2012年度立命館大学校友会 復興支援事業 東北応援ツアー 福島県：会津東山温泉コース」に全国の校友31名が参加、福島県校友7名と交流。	校友会	福島県会津若松市
11月	応用人間科学研究科「東日本・家族応援プロジェクト2012in二本松」の開催	応用人間科学研究科	福島県二本松市
	応用人間科学研究科「東日本・家族応援プロジェクト2012in福島」の開催	応用人間科学研究科	福島県福島市
12月	“風評被害”に代わる概念構築の試みとして、風評被害低減のため、福島県庁、福島大学、ふくしま生協、民間果樹園と連携し、調査を実施。	文学部 サトウタツヤ教授	福島県福島市
2013年1～3月	公益社団法人関西経済連合会が福島県より協力依頼を受け、参加学生募集を行う福島県主催「関西・ふくしま大学生交流事業」に立命館学生2名が参加。	学生オフィス	福島県福島市
2～8月	仮設住宅を訪問し、足湯を中心とした傾聴活動や、旧警戒区域、現在では避難指示準備解除区域の地区の視察（福島を見る知る活動）を実施。	そよ風届け隊	福島県いわき市
■2013年度			
4月	プロジェクト発信型英語プログラム・福島親子との交流	生命科学部 鈴木佑治教授	滋賀県草津市（BKC）
8月	台湾淡江大学×立命館大学 学生交流フォーラム「～TRACE2013～in東北」において、公開勉強会「震災による原発事故で福島が抱えた問題と経験から学ぶ」を開催。	災害復興支援室	宮城県仙台市
8月	内堀福島県副知事がびわこ・くさつキャンパスを訪問。「ふくしまからはじめよう。」プロジェクトについて、教職員および学生を交えての意見交換会を実施。	災害復興支援室	滋賀県草津市（BKC）
10月	職員1名が福島県庁を訪問し、ヒアリングを実施。	災害復興支援室	福島県福島市
11月	「福島ボランティア・フィールドワークツアー」農地復元のための瓦礫撤去作業や生徒交流、被災地の復興住宅の見学慰問を実施。	立命館宇治中学・高等学校	福島県南相馬市
	応用人間科学研究科「東日本・家族応援プロジェクト2013in二本松」の開催	応用人間科学研究科	福島県二本松市
	「2013年度立命館大学校友会 東日本大震災復興支援事業 東北応援ツアー 福島県：相馬コース」を実施。	校友会	福島県相馬市
12月	応用人間科学研究科「東日本・家族応援プロジェクト2013in福島」の開催	応用人間科学研究科	福島県福島市
12月	福島県と学校法人立命館との間で相互的人的・知的資源を活かした連携協力について協定を締結し、復興イベント「ふくしまとはじめよう。京都・立命館」を実施。	災害復興支援室	京都市（衣笠）

2月	福島県の復興の現状を学ぶ「留学生スタディツアー」を開催。10名の留学生が福島県を訪問。	災害復興支援室	福島県福島市・いわき市・郡山市ほか
3月	学生団体そよ風届け隊がいわき市仮設住宅を中心に「足湯カフェ」を開催	学生団体「そよ風届け隊」	福島県いわき市
	3/11追悼企画「いのちのつどい」開催。「I love you & I need you ふくしま」立命館ミュージックビデオ撮影しYouTubeで公開。	災害復興支援室	滋賀県草津市（BKC）
	東日本大震災復興サポート協会の遠藤雅彦氏（本学校友）を講師に迎え、震災発生時の体験、防災の備えの重要性を考える「ぼうさい寺子屋まもっぺ」を開催。	災害復興支援室	大阪市（大阪キャパ）
■2014年度			
6月	BKCキャパ 20周年記念イベントサンクスデーにおいて、福島県と連携し「ふくしまとはじめよう。In BKC」を開催。	災害復興支援室	滋賀県草津市（BKC）
	有志学生団体「サトゼミエンタープライズ」が福島県「若い力による風評対策提案事業」に採択。福島県内の生産者を応援する事業を開始。	サトゼミエンタープライズ	京都市（衣笠）
7月	スタディツアーに参加した留学生が、現地での経験をもとに福島のこれからについて研究者と語りあうトークイベント「ふくしまを見つめた留学生たち」開催。	国際平和ミュージアム 災害復興支援室	京都市（衣笠）
	福島県が主催する、震災の風化・風評被害、福島のこれからについて考える「ふくしまからはじめよう。サミット in 大阪」への開催協力。	災害復興支援室（協力）	大阪府大阪市
8月	学生団体そよ風届け隊がいわき市仮設住宅を中心に「足湯カフェ」を開催	学生団体「そよ風届け隊」	福島県いわき市
10月	後方支援スタッフ派遣第26便：郡山安積國造神社、福島市こむこむ館で立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所講座「福島漢字探検隊」を開催予定。	災害復興支援室	福島県郡山市、福島市

立命館大学 東日本大震災に関する研究プログラム：活動先や連携先に福島県を含むもの 一覧

研究テーマ	研究代表	
■2011年度：4件		
地域分散型震災被災者支援システムの構築に関する研究	政策科学部	平岡 和久教授
長期再起確率を考慮した高潮および津波によるアジア太平洋沿岸域の脆弱性評価～東日本大震災による沿岸水害の実態解明と低地が広がる島嶼国の将来リスク～	理工学部	佐藤 圭輔
多次元における離散確率解析とその応用	理工学部	土屋 貴裕助教授
教育と福祉との連携に基づく子どものトラウマケアのあり方	産業社会学部	野田 正人教授
■2012年度：10件		
流言研究と文化心理学理論に基づく風評被害の実態と理論化－風評被害低減方策の可能性	文学部	サトウ タツヤ教授
東日本大震災の被災と復興課程で福祉労働者の果たした役割と災害マニュアルに関する研究	産業社会学部	石倉 康次教授
喪と回復～東日本大震災のメディアの「物語」構築～	産業社会学部	日高 勝之教授
大震災の住宅復興のあり方に関する研究－阪神淡路大震災の検証を踏まえて	政策科学部	塩崎 賢明教授
地域分散型震災被災者支援システムの構築に関する研究	政策科学部	平岡 和久教授
震災復興と危機管理－福島から－（副題：震災復興に伴う企業再生と反社会的勢力排除）	経済学部	久保 壽彦教授
長期再起確率を考慮した高潮および津波によるアジア太平洋沿岸域の脆弱性評価～東日本大震災による沿岸水害の実態解明と低地が広がる島嶼国の将来リスク～	理工学部	佐藤 圭輔
東日本大震災復興支援英語プログラム：「プロジェクト発信型英語プログラム」のライフロング・モデル	生命科学部	鈴木 佑治教授
震災特区制度の研究	法務研究科	斎藤 浩教授
被災伝統構法木造建築物の補修・耐震補強の技法・技術の開発と復興支援	立命館グローバル・イノベーション研究機構	鈴木 祥之教授
■2013年度（基盤研究・災害研究枠）：6件		
事例研究による、放射線被害を含む東日本大震災による影響を想定した福祉労働実践と、新たな支援基準の提案－宮城県、福島県の福祉労働者の果たした役割に関する追跡調査－	産業社会学部	石倉康次教授
東日本大震災後の「災害文化」の生成とありようの検証とその社会的活用	産業社会学部	日高勝之教授
震災復興に関する情報の応用社会心理学－風評被害の実態と理論－	文学部	サトウ タツヤ教授
災害がコミュニティに与える影響、トラウマとレジリエンス、および対人援助学的支援に関する研究	応用人間科学研究科	村本邦子
震災に於ける広報誌の実態と課題：「広報」と「広聴」	言語教育情報研究科	東照二教授
放射性セシウムによる局所的汚染地域（ホットスポット）の動態調査と将来予測	理工学部	佐藤圭輔

10月の3連休は、 郡山&福島で“漢字”を体験!!

漢字教育士300名
突破記念につき

参加無料!!

小・中学生&保護者、
一般の方対象

たいけんがたかんじこうざ ふくしまかんじたんけんたい
体験型漢字講座「福島漢字探検隊2014」

かみ かんじ かんじ 神さまと漢字&漢字あそび大会

子どもも、大人も、楽しみながら
「漢字」を学ぼう!

ぜひ親子でご参加ください!!

※小学生以下の方は、必ず保護者と一緒にご参加ください。
※未就学児が参加される場合はご相談ください。



郡山で開催

福島で開催

神さまと漢字

※事前申込が必要です。

日時 2014年

10/11土

◎10:00~12:00 一般の部 中学生以上

◎14:00~16:00 親子の部 小学生+保護者

場所

安積国造神社

郡山市清水台
1-6-23



漢字あそび大会

※一部の催し(漢字ジェスチャー大会)のみ事前申込が必要です。

日時 2014年

10/12日・13月祝

◎12日日 …… 12:00~17:00

◎13日月祝 …… 10:00~16:00

場所

こむこむ館1F
にぎわい広場他
福島市早稲町1番1号



立命館大学 社会連携部社会連携課

お問い合わせ・
参加お申し込み先

電話 075-813-8209 FAX 075-813-8167

E-mail toyomoji@st.ritsumeiji.ac.jp [メール・FAXでお問い合わせの際は、お名前・ご住所・電話番号・メールアドレスをご記入ください。]

- 主催：立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、Z会国語力研究所
- 協力：国立大学法人福島大学、こむこむ館、安積国造神社
- 後援：郡山市教育委員会、福島市教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社
- 協賛：平凡社、太郎次郎社エディタス、スリーエー・ネットワーク、フォーラム・A

この催しは、子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成活動によるものです。



漢字の成り立ちを、見て、聞いて、学ぼう!

たいけんがたかんじこうざ ふくしまかんじたんけんたい
体験型漢字講座「福島漢字探検隊2014」

かみ かんじ かんじ たいかい
神さまと漢字 & 漢字あそび大会



今回の「福島漢字探検隊2014」は、3日間にわたって郡山と福島で実施。1日目(郡山)は「神さまと漢字」をテーマに、実際に神社を参拝しながら「神さまと人との関わり」からできた漢字の成り立ちについて学びます。そして2日目・3日目(福島)は「漢字あそび大会」を開催し、漢字カルタやカードを使ったゲーム、漢字ジェスチャー大会などで漢字を「体感」。子どもも大人も一緒になって体を動かし、親子で漢字を学ぶ楽しさを実感してください!



何の漢字か、わかるかな?
 ★答えは、当日(福島)会場です!

主な内容

10/11(土)
郡山

- 神と人との関わりから生まれた漢字を学ぶ
 一般の部(中学生以上) 10:00~12:00
 親子の部(小学生+保護者) 14:00~16:00

10/12(日)
10/13(月・祝)
福島

- 漢字クイズ大会 **漢字についてのクイズに挑戦!**
 小学生以下の部 12日/12:30~13:30、13日/15:30~16:00 当日エントリー受付(各回20人)
 中学生以上&大人部 12日/14:30~15:00、13日/10:30~11:00
- 画数ビンゴ大会 **漢字の本やグッズが当たる!**
 12日/16:00~16:30、13日/11:30~12:00・16:30~17:00
- 漢字ジェスチャー大会 **人の動きからできた漢字を表現!**
 13日/13:00~15:00 ※事前申込が必要です。
- 古代文字で名前を書こう **先生が教えてくれる!** 澁澤尚先生 福島大学教授
 12日/12:00~16:30、13日/10:00~15:30 (途中休みが入ります)

大人気!

漢字ジェスチャー大会

13日/13:00~15:00 ※事前申込が必要です。

人の動きからできた人体にまつわる漢字を“自分の体”であらわそう! 参加した子どもたちによるチーム対抗の「漢字ジェスチャー大会」は、いつも大人気!

参加者には
 「人体からできた漢字」
 カードをプレゼント!



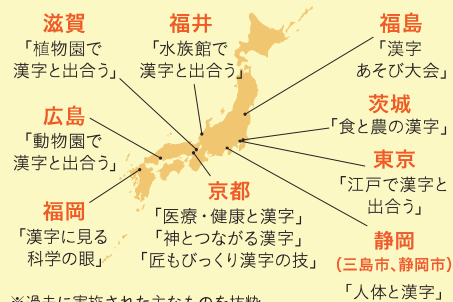
カードは
 当日の
 お楽しみ!!

大好評!

通算実施回数 128回突破!

体験型漢字講座「漢字探検隊®」

立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所が企画している体験型漢字講座「漢字探検隊・漢字あそび大会」は、全国各地で実施されている人気の講座です。◎「漢字探検隊」は立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所の登録商標です。



2014年
 10/11(土)
 10/12(日)
 10/13(月・祝)
郡山&福島に!!

楽しかった!

来てよかった!

2013年「漢字探検隊」参加者 **吉田浩平さん親子**

漢字が好きな息子にせがまれて参加しましたが、自ら手をあげてゲームに参加する子どもたちを見ると本当に来てよかったと思えました。普段小学校の授業は参観日しか見られませんが、こういう講座なら子どもの学ぶ姿を間近で見られるので親としてもいい機会でした。



亮平くん 舜士くん

漢字教育士® 久保裕之 講師

◎立命館大学 社会連携部社会連携課
 ◎立命館大学 白川静記念東洋文字文化研究所・文化事業担当
 ◎「漢字教育士」は立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所の登録商標です。

「漢字」を学ぶ楽しさを、親子でぜひ。
 当日、会場でお会いしましょう!

